

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	スタッフの入れ替えがあり、新しいスタッフは理念をよく理解できていない。	全ての職員が事業所の理念を共有し、実践につなげる。	申し送り時(朝・夕)に事業所の理念を唱和する。	3か月
2	40	食事時、職員は見守りに専念している傾向にあり(介助含む)、食事を楽しむ雰囲気に欠ける。	食事を楽しめる環境作り (入居者、職員が共に楽しめる環境)	食事時はテレビやBGMを流し、入居者と会話をし、監視しているような感じにならないよう、態度に気をつける。また、入居者と同じテーブルにつき、同じ目線の高さにする。	6か月
3	52	スタッフが日常の業務に専念し、楽しい雰囲気が感じられない。	入居者、職員が共に楽しく過ごす時間を作り、ホーム内の雰囲気が明るくなるようにする。	日常の中での会話を今よりも多くする。一緒に作業する場面を増やすようにし、共通の話題から会話を弾ませる。レクリエーション時は入居者と共に席につく。ホーム内の装飾品を明るいものにする。	10か月
4	19	スタッフの入れ替えがあり、名前を覚えてもらえない環境にある。それに伴い、家族からも気軽に声をかけにくくなっているように思われる。	家族から気軽に声をかけてもらえるような雰囲気と環境作り	スタッフは名札をつける。面会時等にこちらから日々の様子を今以上に話しかけ、親しみやすく、信頼が持てるよう接する。 (入居者の状態等を職員は十分に把握する)	10か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。